

虐待をふせぐには、ぜひこの映像を——！

お年寄りの温かい思いやりと励ましで若い夫婦が立ち直っていく。
生きていることの素晴らしさと命の尊さを問う
感動の人権社会教育ドラマ——！

虐待は命の問題です！

文部科学省選定

優秀映画鑑賞会推薦
青少年育成国民会議推薦



いのち かがや 輝くとき

製作●八頭司 享

プロデューサー 八頭司重信
脚本 石川 隆之
撮影 林 健作
VE 大塚 康郎
照明 山北 一祝
録音 山川 暢之

監督●原田 隆司

キャスト

阿木 五郎
田中 弘史
松本 元
駒田 真紀
森永 悠希
伊吹友木子

友情出演

正司 歌江



撮影協力

宝塚市立病院
宝塚市泉町自治会
宝塚FC研究会
宝塚映画祭実行委員会
坂本茂治農園
宝塚市民のみなさん

制作協力

(株)IMAGICAウェスト
旭国際宝塚カンツリー倶楽部

ふれあい
菜園

いのち

文部科学省選定

かがや 輝くとき



製作 ■ 八頭司 享

友情出演 正司 歌江

伊吹友木子

森永悠希

駒田真紀

松本弘元

田中弘史

阿木五郎

監督 ■ 原田 隆司

監製 ■ 八頭司 享

プロデューサー/八頭司重信 脚本/石川隆之 撮影/林健作 VE/大塚康郎 照明/山北一祝 録音/山川暢之 助監督/熊谷昌文 美術/山本雅一 製作デスク/竹田治

最近、深刻な社会問題となっているのが、親による子どもへの虐待です。特に、地域社会から孤立している核家族の親が現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないのでしょうか……！

その親と子どもを救うには、近隣の人々の温かい心と地域社会の支えが必要ではないのでしょうか……！

●ストーリー●

ある中都市のマンションに隣接した畑。ここは「ふれあい菜園」と名づけられ、自治会長の健吉(75)(阿木五郎)、新次郎(72)(田中弘史)、ハツ(73)(正司歌江)たち高齢者が中心となってマンションの住民たちが野菜や花を育てている。また、絵を描くことが趣味の妙子(77)(伊吹友木子)も健吉たちの仲間である。

健吉は同じマンションに引っ越して来た久美(28)(駒田真紀)にも「ふれあい菜園」に参加してもらおうと久美の家を訪ねるが、断られる。そこにいた久美の息子昇(4)は何もしゃべらず元気がなく、何かに怯えているように見えた。

久美は昇を保育園に預けて働いているが、昇は保育園をいやがり帰って来てしまう。悲しみに沈んだ久美の顔を見た健吉は「何か心配事があったら相談に乗りますよ」と声を掛ける。久美は健吉の言葉に笑みを浮かべる。

菜園の『収穫祭』の日。新次郎といっしょに白菜を引き抜く昇は笑顔を見せたが、まだしゃべることはなかった。その時、別居中の昇の父・信一(29)(松本元)が訪ねて来ると、昇は顔をこわばらせ、逃げて行くのだった。

久美が過労で倒れしばらく入院することになり、健吉たちが昇の面倒を見ることになったある日のこと、昇の背中に多くの傷跡があるのがわかる。昇は父親から虐待を受けていたのだ。健吉たちは虐待によって閉ざされてしまった昇の心をなんとか開いてやろうと奮闘する。

久美の退院の日。久美は昇が遊んでいる菜園にやって来て昇を抱きしめ、居合わせた健吉たちに礼を言う。と、その時、昇の口から「ありがとうございました」という言葉が初めて出た。健吉たちは驚き感激し、久美は嬉しさのあまり涙が止まらなかった。しかし、そこへ信一が現れる。健吉とハツが立ち会い、久美と信一は話し合う。信一は前の会社でリストラに遭っ

たことが原因で暴力を振るうようになったが、今は反省している。また、家族いっしょに生活することを望んでいる。しかし久美は信一を信用できない。二人の話は平行線をたどったが、ハツがある考えを思いつく。

ハツは、信一が花の種を蒔き、世話をして花を咲かせることができれば、久美は信一を許すように提案した。

「馬鹿げている」と最初は思った信一であったが、久美とよりを戻したい一心で菜園に通うようになる。しかし、久美は信一が最後までやれるはずがないと思っていた。信一が病気で来ることができなかった時、ひとりで水をやっている昇の姿があった。

幾日かたったある日、とうとう信一が蒔いた種が芽を出した。小さな芽を腹ばいになって見つめる信一と昇、感無量の面持ちで見守る久美……。そんな親子を万感の思いで見つめる健吉たち。ハツが言う、「愛情を込めて育てたから芽がでたんや……命の輝きや」。しかし、今もどこかで虐待に遭っている子どもたちがいることを考えると喜んではばかりいられない健吉たちであった。

上映時間 30 分



販売価格 ⑦¥73,500 DVD¥73,500 (税込)



●お申し込み・お問い合わせは

(映) 有限会社 博映商事

【飲酒運転撲滅宣言企業】

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】<http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】info@hakuei-shoji.jp

